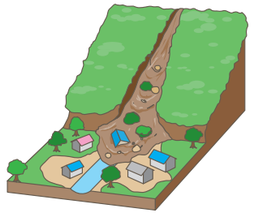
土砂災害が発生する仕組み

土砂災害の種類

がけ崩れ（急傾斜地の崩壊）

「がけ崩れ」は斜面が突然崩れ落ちる災害です。崩れた土砂は、斜面の高さの2倍程度も離れたところまで届くことがあります。

土石流



山腹や川底の石や土砂が、大量の水といっしょになって、津波のように襲ってくるものを「土石流」といいます。

地すべり

地面は地質の異なる層が積み重なっています。地下水などがすべりやすい層にしみ込み、すべり落ちる現象が「地すべり」です。

土砂災害の前兆

土砂災害が起こる多くの場合、事前に危険と思われる変化が見られます。

川がにごった
川がにごり、木の枝などが混ざりはじめた

水位が下がった
雨が降り続いているのに川の水位が下がった

亀裂が走った
山の木が傾いたり、斜面に亀裂が走った

石が落ちてきた
山の斜面から石が転がり落ちてきた

湧き水が止まった
今まで枯れたことのない湧き水が止まった

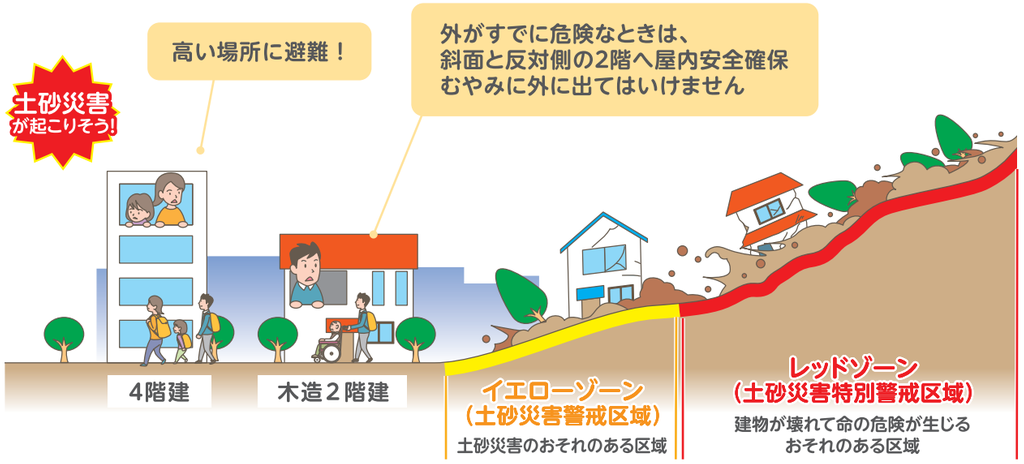
湧き水が増えた
湧き水の量が急に増えた

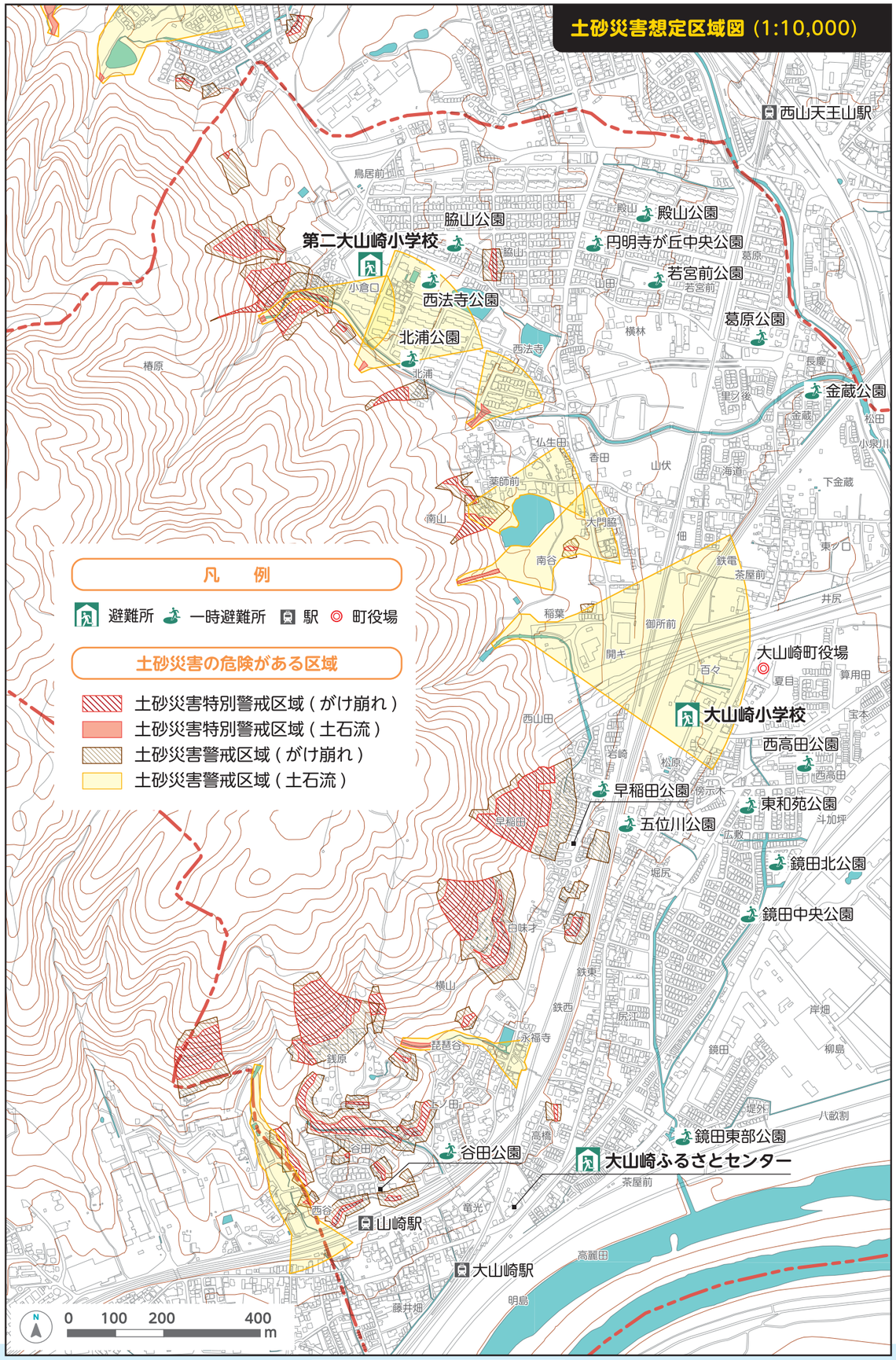
井戸水がにごった
普段澄んでいる沢や井戸の水がにごってきた

地鳴りがする
地鳴りの音が聞こえてきた

土砂災害への備え

土砂災害は水害と同じく、**「立退き避難」**を心がけましょう。ただし外に出ることが危険な場合は、無理をせず斜面から離れた2階以上へ**「垂直避難」**しましょう。





出典：京都府（令和7年10月現在）